

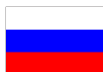
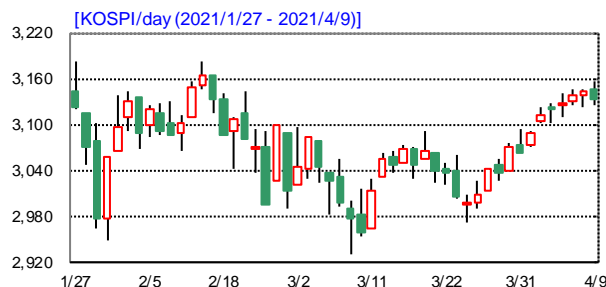


【韓国】 総合指数は0.6%高と3週続伸、今週は国内の感染状況が懸念材料

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で0.6%高と3週続伸。9日は利益確定の売りに押されて下落したが、8日まで6営業日続伸と総じて好調で、8日終値は2月16日以来、約7週ぶり高水準。堅調な米雇用統計や米長期金利の上昇一服などを背景に景気回復期待が高まり、買いが広がった。ただ、新型コロナウイルスの感染が再拡大していることが嫌気され、上値は重かった。8日には700人の新規感染者が確認され、1月初旬以来、約3カ月ぶりの高水準となった。個別銘柄では、LG電子が5日に赤字続きのスマートフォン事業からの撤退を発表。発表当日は前営業日比2.5%安と売られたが、企業価値の向上が見込まれ、6日には3.6%高と反発した。今週は13日に3月失業率、15日に政策金利が発表される予定。国内の感染状況が懸念材料。

▼指数チャート

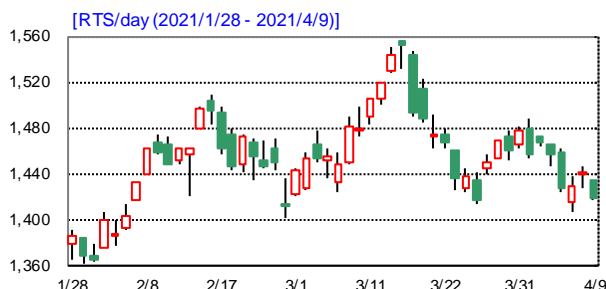


【ロシア】 RTS 指数は週間で3.3%安と反落、今週は原油相場をにらんだ展開か

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で3.3%安と大幅反落。原油安を受けたエネルギー株の下落や地政学リスクの高まり、対ロシア経済制裁への懸念などが重しとなった。週明け5日は原油安が嫌気され RTS 指数は前営業日比で0.7%安。6日は原油相場が反発し、欧米株も上昇するなど、外部環境が良好な中、ルーブルが下落し、指数も2.1%安と大幅に続落した。7-8日は続伸したものの、9日は再び1.6%安と反落。東ウクライナの地政学リスクや対ロシア経済制裁に対する警戒感が広がった。個別では産金のポリュス、ニッケルのノリスル・ニッケルなどが2%超上昇した一方、エネルギーのスルグトネフテガスが7.4%、タトネフチが6.6%、ズベルバンク・オブ・ロシアも3.6%下落した。今週は原油相場の動向をにらんだ展開か。

▼指数チャート



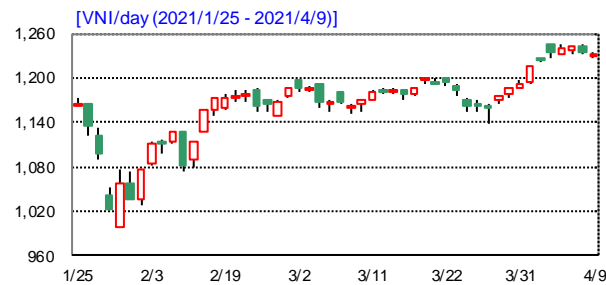
【ベトナム】 ベトナム指数は0.6%高と続伸、最高値更新で今週も上昇の勢いが続

くか

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で0.6%高と続伸。海外投資家の買い越しが続き、指数は前週に続いて最高値を更新した。前週に5.4%高となり過去最高値を更新した VN 指数は週明け5日に前営業日比0.9%高。優良株に海外投資家の買い越しが続き、指数は7日まで8営業日続伸した。8日も一時、取引時間中の最高値を更新したが、その後は利益確定売りが強まった。指数は8-9日に続落し、週の上げ幅を縮めて終了した。個別では不動産のノー・バー・ランド・インベストメント・グループが9.8%高と急伸し、金融の軍隊商業銀行が5.9%高、ベトインバンクが2.9%高となった。一方、飲料のサイゴンビール・アルコール飲料が3.3%安、エネルギーのペトロベトナム・ガスが1.7%安だった。先週の最高値更新を受け、今週も上昇基調が続くか。

▼指数チャート



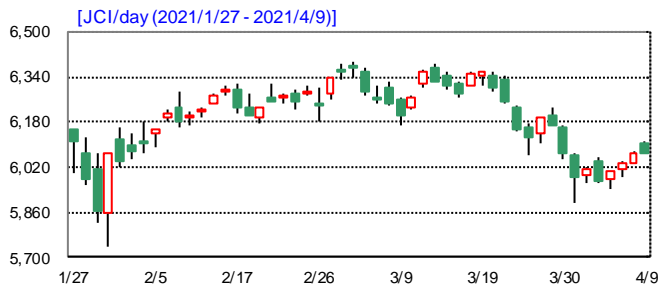


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 1.0%高、今週は 15 日に 3 月の貿易統計発表

ジャカルタ総合指数は週間で 1.0%高と 4 週ぶりに反発。国内の重要イベントが少ない中、おおむね堅調な値動きだった。連休明けの 5 日は、前週末に発表された 3 月の米雇用統計が強い内容だったことを受け、早期の利上げに対する警戒感が高まり、指数は反落。ただ、6 日に反発すると、7 日は米長期金利の低下や IMF による今年の世界経済の成長見通しの上方修正が買い材料となり、続伸した。8 日は 3 月開催の FOMC 議事要旨で金融緩和の長期化が示された効果で上値を広げたが、9 日は 4 日ぶりに小幅反落している。今週は 15 日に 3 月の貿易統計が発表される予定で、市場予想から上振れすれば好材料。

▼指数チャート

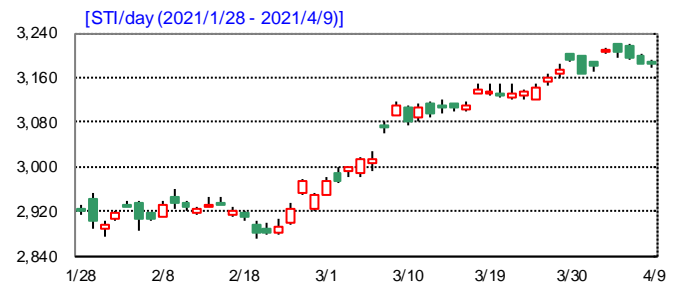


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 0.1%高、今週は 1-3 月期の GDP 速報値に期待

ストレーツタイムズ指数は週間で 0.1%高と小幅ながら 7 週続伸。週初に上昇し、その後は週末までじりじりと上げ幅を縮めた。連休明けの 5 日は 3 月の米雇用統計が市場予想から上振れした効果で、指数は終値で 3200 ポイント台に到達。6 日に前日の取引終了後に発表された 3 月の製造業 PMI が前月を 0.3 ポイント上回ったものの買い材料にならず、3 日ぶりに小幅反落すると、7 日は金融株が下げを主導した。週後半も買い材料に乏しく、結局 9 日まで 4 日続落して取引を終えている。今週は 14 日に 1-3 月期の GDP 速報値、16 日に 3 月の非石油地場輸出が発表される予定。内容次第で買い戻される展開か。

▼指数チャート

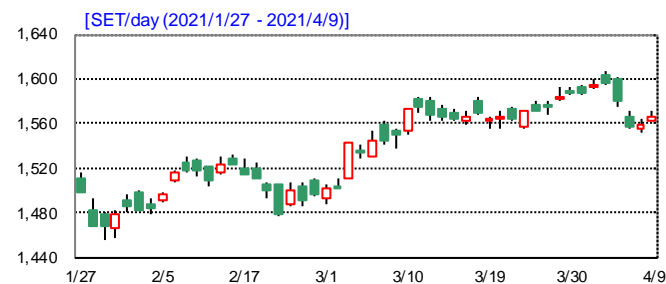


【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 1.9%安、原油価格下落でエネルギー株に売り

SET 指数は 4 日間の取引で 1.9%安と 3 週ぶりに反落。原油価格の下落が響いた。週初の 5 日は、前週に開催された OPEC プラスの会合後、一時的に上昇していた原油先物価格が下落に転じた影響でエネルギー株が売られ、指数は前営業日比 1.0%安と 3 日ぶりに反落。祝日を挟んだ 7 日も下げ止まらず、さらに 1.5%安と続落したが、8 日は反動で小幅反発した。9 日は前日の NY ダウが上昇した流れを引き継ぎ、続伸して取引を終えている。今週は国内の経済イベントが少なく、中国の 3 月の貿易統計や 1-3 月期の GDP、パウエル FRB 議長の講演などが焦点。13-15 日はソンクラーン（旧正月）のため休場となる。

▼指数チャート



【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 1.7%高、終値で 1600 ポイントを回復

クアラルンプール総合指数は週間で 1.7%高と 3 週ぶりに反発。週半ば以降の上昇が奏功した。週初の 5 日は、ゴム手袋メーカー株が売られ、指数は 3 営業日ぶりに反落。6 日は前日にスリランカ政府が環境保護対策の一環として、パーム油の輸入を全面禁止した影響で関連株を中心に売り優勢となった。一方、7 日は引け際の買いで、前日比 1.4%高と終値で 6 日ぶりに 1600 ポイント台に到達。8 日に小幅続伸すると、週末の 9 日は事業統合の合意が間近と報じられた通信のアシアタ・グループとデジ・ドット・コムが指数上昇をけん引した。今週は国内の重要イベントが少なく、外部要因が指数を左右しそうだ。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。